

# LEADER

## SDI MULTI LINE CHECKER

### LT 7400A



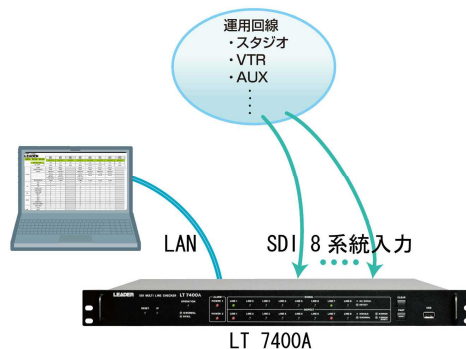
## 8系統のSDI信号を同時にエラー監視

### 概要

LT 7400A は、8 系統の SDI 信号を同時にエラー監視できる SDI MULTI LINE CHECKER です。  
各入力系統のエラー監視、および設定、エラーログの取得等はすべて、イーサネットに接続したコンピュータの Windows アプリケーション上で、一元管理することができます。  
(最大 10 台 80 回線まで監視可能、SNMP 対応)  
(LT 7400A は、装置単体では動作しません。PC との接続が必要となります。)

### 特長

- **8 系統のシリアルデジタル入力**  
最大 8 系統の SDI 信号を同時に監視することができます。
- **8 系統のシリアルデジタル出力**  
各入力系統の SDI 信号をリクロック出力が可能です。
- **専用 Windows アプリケーションによるエラー監視**  
Windows アプリケーションにより 8 系統の SDI 信号を一元管理できます。  
イーサネットで接続していますので、遠隔監視も可能です。またエラーログファイルも日付毎に管理されハードディスクに自動保存されます。
- **エラー検出機能**  
CRC エラーなどのビデオ信号をはじめ、エンベデッドオーディオ信号、アンシラリデータに関するさまざまなエラーを検出できます。
- **周波数偏差監視エラー検出**  
SDI 信号の基準クロック周波数に対する偏差(表示範囲-50ppm~+50ppm)を測定することが可能です。
- **複数台の監視システムを構築可能/SNMP 対応**



## ■規格 (LT 7400A)

### 入出力信号(ビデオ信号フォーマットと規格)

カラーシステム	量子化精度	フォーマット		対応規格
		スキニング	フレーム(フィールド)周波数	
YCbCr 4:2:2	10bit	1080i	60/59.94/50	SMPTE 274M SMPTE 292
		1080p	30/29.97/25/24/ 23.98	
		1080PsF	30/29.97/25/24/ 23.98	SMPTE RP211 SMPTE 292
		720p	60/59.94/50/30/ 29.97/25/24/23.98	SMPTE 292 SMPTE 296M
		525i	59.94	SMPTE 259M
		625i	50	

アンシラリデータ規格: SMPTE 291M

エンベデッドオーディオ信号: SMPTE 299

フォーマット: 自動検出

※1080PsF/30/29.97/25については、表示をセグメント形式レームに手動設定。

### 入出力端子

#### SDI 入力端子

入力端子: BNC コネクタ 8 端子

入力インピーダンス: 75 Ω

入力リターンロス: 15 dB 以上(5 MHz~1.485 GHz)

最大入力電圧: ±2 V (DC+ピーク AC)

#### SDI 出力端子

出力端子: BNC コネクタ 8 端子

出力インピーダンス: 75 Ω

出力リターンロス: 15 dB 以上(5 MHz~1.485 GHz)

出力電圧: 800 mVp-p±10%

### 制御端子

イーサネット端子(PC 接続用)、USB 端子(バージョンアップ用)

D-Sub9 ピン(メンテナンス用)

### SDI 監視項目(専用 Windows アプリケーション)

#### SDI 信号のステータス表示

信号検出: SDI 信号の有無を表示

信号強度: 受信している信号強度を STRONG、MEDIUM、WEAK の 3 段階で表示(表示は出力端で 800mVp-p の SDI 信号を下記ケーブル長で伝送した場合の信号強度を示す)

#### HD-SDI(ケーブル LS-SCFB)

STRONG: 約~20 m

MEDIUM: 約 20 m~70 m

WEAK: 約 70 m 以上

#### SD-SDI(ケーブル L-5C2V)

STRONG: 約~50 m

MEDIUM: 約 50 m~200 m

WEAK: 約 200 m 以上

フォーマット: ビデオ信号フォーマットを表示。設定外のフォーマットを検出すると赤色でエラー表示

オーディオチャンネル: 多重されているオーディオのチャンネルを表示

周波数偏差監視: 周波数偏差表示範囲-50ppm~+50ppm

#### SDI 信号エラー検出

CRC エラー: HD-SDI 信号の伝送エラーを検出

EDH エラー: SD-SDI 信号の伝送エラーを検出

TRS エラー: TRS の位置およびプロテクションビットのエラーを検出

イーガルコードエラー: TRS、ADF ヘッダ以外の 000h~003h、3FCh~3FFh のデータ検出

ラインナンバーエラー: HD-SDI 信号ラインナンバーエラーを検出

### アンシラリデータのエラー検出

チェックサムエラー: アンシラリデータの伝送エラーを検出

パリティエラー: アンシラリヘッダのパリティエラー検出

### エンベデッドオーディオのエラー検出

BCH エラー: オーディオパケットの伝送エラーを検出

DBN エラー: オーディオパケットの連続性エラーを検出

パリティエラー: オーディオパケットのパリティエラーを検出

DBN エラー: オーディオパケットの連続性エラーを掲出

CRC エラー: オーディオデータのチャンネルステータスビットの CRC エラーを検出(ただしプロフェッショナルモード時)

### 同期音声サンプル数エラー:

音声データのサンプル数が同期音声で定められたサンプル数の無い場合エラーとして検出

### アンシラリデータパケット重畳位置エラー検出

AUDIO DATA エラー: オーディオデータの重畳位置エラー

日本語字幕エラー: 日本語字幕の重畳位置エラー

データトリガーパケットエラー:

データトリガパケット重畳位置エラー

ユーザーデータ 1 パケットエラー:

ユーザーデータ 1 パケット重畳位置エラー

ユーザーデータ 2 パケットエラー:

ユーザーデータ 2 パケット重畳位置エラー

### エラーカウント(専用 Windows アプリケーション)

エラーカウント: エラーの発生数を監視

秒単位でのカウント: 1~10 秒、設定単位の期間中エラーは 1 カウント(PC ネットワーク接続の時有効)

フィールド単位でのカウント:

フィールド期間中のエラーは 1 カウント (PC と 1 対 1 接続時有効)

### ログ機能(専用 Windows アプリケーション)

ログ: 回線名毎に保存先フォルダーを自動生成

TXT 又は、CSV 形式で自動保存

### 操作 PC 推奨動作環境

OS: Microsoft Windows Vista Business Edition SP2 32 ビット, Windows XP Professional SP3, Windows7 Professional SP1(いずれも日本語版)

CPU: インテル(R)Core™2 Duo 2.1GHz 以上

ディスプレイ解像度: SXGA(1280x1024)以上

メモリ: 2GB 以上

ハードディスク: 80GB 以上

(エラー判定時の警告音を有効にする場合は、スピーカーを有効にしてください。)

### 環境条件

動作温度範囲: 0~40 °C

動作湿度範囲: 85 %RH 以下(ただし結露のないこと)

使用環境: 屋内

使用高度: 2,000 m まで

過電圧カテゴリ: II

汚染度: 2

電源 (2 重化): AC90~250 V,50Hz/60Hz 35 Wmax.

寸法、質量: 482(W)x44(H)x350(D) mm 3.3kg

付属品: 取扱説明書.....1

電源コード.....2

カバーインレットストッパー.....2

※会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※本カタログに記載された内容は、製品の改善のためお断り無く変更することがあります。